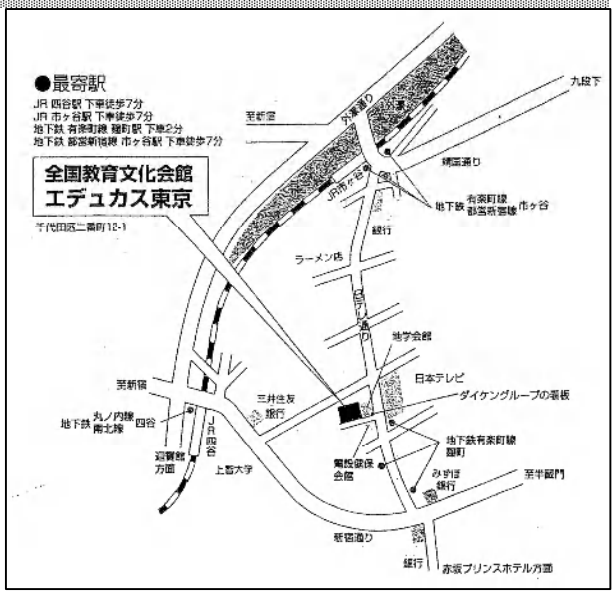
子どもを貧困と格差から守る連絡会議のお誘い

８月 27 日(金)18:30~20:30

エデュカス東京４階都教組会議室

最寄り駅　JR 四谷７分･市ヶ谷７分　地下鉄麹町２分



７月１６日の連絡会議には、初めて参加していただいた方が多く、会議始まって以来の参加人数となりました。児童虐待予防をテーマにした学習を行ったこと､「なくそう！子どもの貧困全国ネットワーク」のメーリングリストで宣伝したことが功を奏したようです。協議も深まり、うれしい限りでした。今後も、学習と交流に力を入れていきたいと思います。

行政のきめ細やかな対応。世田谷区のとりくみを渡部たづ子さんが報告

７月１６日の会議では、世田谷区子ども部要支援児童担当課要保護児童支援担当係長の渡部たづ子さんが、児童虐待への対応と予防について報告してくださいました。世田谷区では、「要保護児童支援あり方検討委員会」を設置し、長期に渡るネグレクト事例の分析をもとにとりくみをすすめてきました。早期発見は早期解決につながらない、問題が深刻であること、長期にわたり支援が必要なことを意味するとの指摘にはっとさせられました。継続的で柔軟な支援の内容には、参加者も心を打たれました。周産期、乳幼児期、学童期それぞれに支援のプログラムが用意され、人が位置づいていました。報告書を１冊いただいていますので、くわしく知りたい方はご連絡ください。

今回の学習は母子生活支援施設かしわヴィレッジの無料学習塾

今回の学習は、学習支援を取り上げます。「子どもの貧困」白書（328 頁）の「ひとり親家庭への支援」で紹介されている新宿区の母子生活支援施設「かしわヴィレッジ」の施設長渋谷行成氏から、無料の学習塾「かしわ塾」について報告していただきます。渋谷さんは、先の書の中で「おとなや社会への不信感は、おとなたちの手で時間をかけて修復する以外にない」と語っています。各地でもとりくまれている学習支援について、報告を受けて交流してみたいと思います。

「子どもの貧困ＮＯ！」アンケートを大きく拡げよう

アンケートは、今のところ、都教組の支部に１万５千、東京地評に２万７千、東京社保協１万、新婦人新聞３万、生活と健康を守る会５千、東京自治労連３千、都障教組２千、都庁職都立学校支部４５０を配布しました。まだまだ広げたいと思います。ぜひ、都教組までご請求ください。

東京都教職員組合（℡０３-３２３０-３８９１　E-mail:tokyoso@zenkyo.org）

東京都教職員組合ファックス番号（０３-３２６２-９７０５）

８月２７日の「子どもを貧困と格差から守る連絡会議」に参加します。（差し支えない点をお書きください）

お名前	所属
電話	ＦＡＸ